＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
TRACK 06｜胃袋の中から
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
<完全な静寂：約3秒。☆ここでBGMも止める>

<ここから音響処理：聞き手は綾子の胃の中にいる視点。ローパス／強めのリバーブ／エコーをかけ、台詞は明瞭に。継続>
【定位⑩：マイクから少し離れていただく（ここから）】

……聞こえますか？

聞こえているんですね。

ふふ。

もう、
外側には、
あなたはいませんよ。
今あなたは、私のお腹の中から私の声を聴いています。

それにしても、あなた、最低ですね。
女性におちんちんを食べられながら、口の中で射精するなんて。
飲みたくもないあなたの精液を、飲んでしまいました。
最後の最後まで、あなたは性犯罪者でした。
女性に精子を送りたい。
男の執念って、ある意味すごいんですね。
とっても優秀な「精子を作る機械」ですね。

昨日まで、葉の上で私を追いかけていたあなたも。
逃げようとしていたあなたも。
抵抗していたあなたも。
最後まで、中に出したいと懇願していたあなたも。

もう、
生きたあなたとしては、外には残っていません。
今あなたがいるのは。

私の中。【囁き】

どうです？
ずっと、女性の身体に近づきたかったんでしょう？
近づけましたね。
これ以上ないくらい。

ただし。

あなたが望んでいた形では、ありませんけれど。
ふふ。【小さく笑う】

まだ、
中出ししたかったですか？

…。

ふふ。

残念。

最後まで、中には出させてあげませんでした。
私が嫌だったから。
それで終わりです。

男の欲望より、女性の意思のほうが、最後まで強かった。
…。
もう何もできませんね。
だって。

【演技⑪: ゆっくり ここから】

あなたはもう、
自由に動ける身体を、
失ってしまったから。

【演技⑪ ここまで】

…そういえば。
結局、あなたの名前、最後まで聞きませんでしたね。
でも、もう必要ありません。
明日、私は姉に、今日の出来事を話すでしょう。
他の女性たちにも話します。
なつきが無事だったこと。
私が、自分の過ちから学んだこと。
そして、二度と同じ間違いを繰り返さないと誓ったこと。
…そこに、男の名前は必要ありません。
男の命は、女性の胃袋の中へ消え、
男が生きた証は、時間の経過とともに消え、
男の罪だけが、永遠に、女性史に残るんです。
…。
あなたがどんな名前で生きてきたとしても。
私たち女性の物語は、明日も続いていきます。
…ごちそうさまでした。
…女性の敵さん。

<SE: 低い心音のような響き>

【演技⑫: 囁き ここから】

次に生まれ変わるなら。
少しは、
女性の言うことを聞ける男になれるといいですね。

【演技⑫ ここまで】

ふふっ。
女性の勝ち。
男の負けです。
おやすみなさい。

<フェードアウト>